



港南小学校 学校だより

9月号

二十四節気・七十二候

<9月の二十四節気>

- ・9月8日 白露
気界冷露白し
- ・9月23日 秋分
秋の最中昼夜平分

<9月の七十二候>

- ・草露白
くさのつゆしろし
→草に降りた露が白く光る
- ・鶺鴒鳴
せきれいなく
→鶺鴒が鳴き始める
- ・玄鳥去
つばめさる
→燕が南へ帰っていく
- ・雷乃収声
かみなりすなわちこえをおさむ
→雷が鳴り響かなくなる
- ・蟄虫坏戸
むしかくれてとをふさぐ
→虫が地中に掘った穴をふさぐ
- ・水始涸
みずはじめてかる
→田畑に水を干し始める

校長 船木 亮作

心のゆとり

二学期がスタートしましたが、今年度も新型コロナウイルスの影響もあり、全員が揃ったの始業式を迎えることができませんでした。また、夏季休業中もデルタ株の影響で子供たちへの感染リスクが高まったため、夏季水泳の3回目を中止せざるを得なくなりました。その他にも引き渡し訓練も延期することになりました。そのような状況の中、二学期当初はオンライン授業やハイブリッド授業等を実施せざるを得ない状況にもなりました。学校からの配信の通り、明日以降は対面とオンライン等を含めた学習形態になります。しかしながら、特に低学年の児童は、まだまだタブレット等の活用に慣れていませんので、四日(土)でのオンライン配信の際、保護者の方々にもお手伝いいただけると助かります。よろしくお願いいたします。

さて、緊急事態宣言が長引く中、子供たちとともに私たち大人も心のゆとりがなくなってきたように感じます。せめて私たち大人が心にゆとりをもちたいものです。

例えば、子供がコップに入ったジュースをこぼしてしまったり、次のどちらの声掛けをするかによって子供の気持ちが変わってくるのではないのでしょうか？

- 「あと半分しかないじゃない」
- 「あと半分もあるね」

子供がそのあと、残りのジュースを飲むとき、どんな気持ちになるか想像してみてください。日常生活の中でゆとりを考へるとき、「時間のゆとり」「経済的なゆとり」などが考へられます。しかし、同じ時間とお金を与えてもそれに対して皆が「同じだけ満足」を感じるとは限りません。右記のように同じ現象でも「満足感」は一人一人の心が決めることです。

「忙しい」という字は「心を亡くす」と書きます。私たち大人の仕事はもしかしたら忙しさの連続です。そう考へると私たちもいつの間にか心のゆとりを失ってしまっているのではないのでしょうか。ゆとりがない時の自分自身を振り返ってみると、意識が自分ことだけに集中し、周囲のことまで考へる余裕がなくなっています。また、視野も狭くなり他人に無関心になったり自分の都合を押し通そうとしたりすることになってしまいます。

また、コロナ禍の中「不安」を感じてしまうことも多いのではないのでしょうか。「不安」は「恐怖」と異なり「悪いこと」が起きそうで安心できない」といった漠然としたものです。何か問題に直面しても、あらかじめその問題に対する方策が分かっている場合は、さして不安を感じることはありません。ところが有効な方策が見つからないとどうしたらよいのか「悩み続けなければならない」状態になります。

では、不安に惑わされることなく冷静に判断するにはどうしたらよいのでしょうか。そのためにはまずは、「心のゆとり」をもつことです。そして、先を見通して「シミュレーション」をしておくことです。「こうなったらこうしよう」という準備がとて大切です。日々の生活においても事前の準備をしっかりしておけば不安や緊張が軽減され、思い描いたストーリーになっていきます。また、日々のつながりに「感謝」の気持ちをもつことで「心のゆとり」が生まれてきます。「当たり前」を「当たり前」と捉えるのではなく、「多くの人に生かされている」という意識をもつことによって気持ちにゆとりができてきます。また、自分も誰かのためになっていると考へるとさらに「心のゆとり」が生まれてきます。

「おかげさまで」「お互い様」という気持ちを常にもつことが大切なのではないのでしょうか。このような時期だからこそ、私たち大人が心のゆとりをもって子供たちに関わっていききたいものです。

心身ともに健全な生活

「約束を守れなかった時の約束を、子供と決めておくことが大切です」これは、生活指導主任会で警察の少年センターの方から伺った話です。

夏季休業が終わり、改めて生活習慣の確立が必要です。感染症防止のため、在宅時間が長くなり、動画サイトの視聴やオンラインゲーム、SNS等の長時間利用が増えることで、健全な生活や友人関係に悪い影響を及ぼすおそれがあります。これを防止するため、冒頭に記載したSNS等の家庭ルールを親子で話し合ってお成りいただきますようお願いいたします。

夏季休業明けは、児童の不安や悩みが増大することがあります。不安や悩みを抱えたときは、保護者をはじめ信頼できる人や教職員、二四時間受付の「東京都いじめ相談ホットライン」「港区立教育センター」電話相談」等の外部機関に相談することが大切です。

二学期も児童の健全育成のために、保護者や地域の皆様と連携していきます。今学期もどうぞよろしくお願いたします。

(生活指導主幹 小清水 孝)



東京都港区港南4-3-28
TEL3474-1501
FAX3474-1500



港南小学校 Twitter



10月の主な行事予定

- 1日(金) 都民の日(休業)
- 4日(月) スポーツフェスタ練習期間始
委員会活動
- 5日(火) 連合運動会(6年)
わかば学級にエールを送る会(5年)
- 6日(水) 連合運動会報告会(基礎)
- 8日(金) 合同運動会(わかば)
- 16日(土) クリーン作戦
- 20日(水) スポーツフェスタ(児童鑑賞日)
- 22日(金) 下校時刻変更、スポーツフェスタ前日準備
- 23日(土) スポーツフェスタ(保護者鑑賞日)
- 25日(月) 振替休業日
- 27日(水) 下校時刻変更
避難訓練 10:40~(不審者対応)

9月の行事予定

1日	水	始業式 土曜時程 4時間授業・清掃なし 下校時刻変更【12:00頃下校】
2日	木	給食始、発育測定始、セーフティタイム、4時間授業
3日	金	4時間授業
4日	土	土曜授業日、2時間授業
5日	日	
6日	月	都学力調査(2時間目:6-1、3時間目:4-3)
7日	火	都学力調査 (2時間目:5-3、3時間目:6-5、4時間目:4-5、 5時間目:4-2、6時間目:5-2)
8日	水	下校時刻変更・基礎なし 眼科(3・4・5・6年生)、都学力調査(4時間目:6-4)
9日	木	都学力調査(3時間目:6-2、5時間目:6-6、6時間目:5-5)
10日	金	都学力調査(1時間目:5-4、2時間目:4-1、 4時間目:5-4、6時間目:5-6)
11日	土	
12日	日	
13日	月	下校時刻変更・基礎なし・土曜時程・5時間授業 都学力調査(4時間目:4-6、5時間目:6-3)
14日	火	下校時刻変更(1~3年生 5時間授業) 都学力調査(3時間目:4-4) クラブ活動
15日	水	
16日	木	眼科検診(1・2年生)
17日	金	発育測定終、わくわく教室面談始
18日	土	クリーン作戦
19日	日	
20日	月	敬老の日
21日	火	
22日	水	
23日	木	秋分の日
24日	金	下校時刻変更・基礎なし・4時間授業 土曜授業日
25日	土	学校公開Ⅱ①、給食あり、土曜時程、 保護者会(オンライン)
26日	日	
27日	月	振替休日
28日	火	鼓笛練習(5・6年生)、わくわく教室面談終
29日	水	下校時刻変更、わくわく教室・学習支援員申し込み希望締め切り
30日	金	

副校長より

「五十八」
五十八と聞いて何のことか分かるでしょう。夏休みに行われた東京オリンピックで日本選手が獲得したメダルの獲得数です。東京オリンピックは、新型コロナウイルス感染症で競技場での観戦が中止となり、ご家庭で応援した児童が多かったと思います。五十八個のメダルを獲得したことも素晴らしいことですが、一番心に残ったのは、メダルを獲得した選手のインタビューでした。ほとんどの選手が、「自分を支えてくれた方々に感謝している」とか「みなさんの

応援のおかげで」といったコメントが多かったと思います。児童のみなさんも学校生活や家庭の中で、友達がいたからできたことや家族のお陰でできたことがあるのではないのでしょうか。人はみんな、お互いに励ましあいながら生きています。今日から二学期が始まります。クラスの間など声をかけ合い、励まし合いながら学校生活していきましょう。

(副校長 久道 泰司)

平 裕子

表彰

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	25	214	217	222	222	235	218	1356

(8月31日現在)

六年生校外学習

校外学習として、「東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAY」に行きました。八名程度のグループに外国人サポーターが一名ずつ付き添い、一日英語で話す体験しました。グループごとに選択したプログラムに分かれ、レストランでの注文や病院での診察など、日常生活シーンを想定した場面を体験しました。自分の気持ちや様子を伝えるために、たくさんコミュニケーションをとり、英語に慣れ親しむ一日となりました。

二学期に予定されている校外学習も、よい学びになるよう計画を進めていきたいと思えます。

(六年担任 山崎 愛未)

五年生運河クルーズ

一学期は、総合的な学習の時間を通して、「環境問題にどう取り組むのか。」を話し合いました。地球環境に対していきなりアプローチをするよりもまずは、地域の環境のよさや改善点を見つけてこようと、地域の方にご協力いただき、運河のクルーズに行きました。

天気にも恵まれ、港南小学校の周りの運河を一周し、「意外にごみは浮いていなかった。」

「改善点より地域のよさがたくさん見つかった。」など、実際に見学することでたくさん発見があったようです。この学びを今後の授業に生かしていきます。

(五年担任 小島 雄貴)

四年生水道キャラバン

五月末に、水道局の方が来てくださり水道キャラバンを行いました。社会科「水はどこから」の学習で学んだことを改めて説明していただき、さらに理解を深めました。水源林やダムなどの水道施設を三六十度の映像で体験したり、実際に汚れた水をきれいにする実験を見たりすることができました。

今回学んだことを生かしながら、今後も水を大切にする気持ちをもって生活していけるよう声を掛けていきたいと思えます。

(四年担任 中野 沙織)

三年生港区めぐり

六月二十二日と二十四日の二日間に分けて三年生は社会科見学で港区巡りを行いました。港区巡りでは、東京タワーの展望台から東西南北に何が見えるかをメモしたり、自分たちの住んでいる港南地区はどこに見えるかを確認したりしました。また、バスの車窓から六本木ヒルズや赤坂サカスなど商業施設や、二十三区内最高峰の天然の山である愛宕山などの特色ある土地や大使館などを巡りました。

今回、この港区巡りで学んだことを今後の社会科の学習に生かしていきたいと思えます。

(三年担任 風見 友哉)

夏季水泳について

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため後期日程が中止となり、前期十日間のみの実施でした。前期の実施では、学年別の泳力に合わせた活動を行いました。授業の時間よりも少ない人数での実施のため、一人一人が目標をもってたくさん練習することができました。今年度は予定よりも少ない時間数での実施となりましたが、来年度は予定した時間数を実施し、さらに充実した活動としていきたいと思えます。持ち物や健康管理などのご協力ありがとうございました。

(体育部 飯山 稜太)

ふれあいコンサートについて

港南小学校では、希望者の児童による「ふれあいコンサート」を行っています。「ふれあいコンサート」では、友達と一緒に様々な楽器を使って曲を演奏します。だんだんと演奏がまとまってくると、「こはもつと強く弾いたほうがいいね」「みんなの音をもつとよく聴こう！」など、お互いに声を掛け合って練習する姿がたくさん見られました。そして練習を積み重ね、友達と音を合わせ、心をつなげたすてきな演奏が完成しました。

今年度は演奏の様子を動画で撮影し、ホームページにて公開しました。児童の演奏をぜひご覧ください。

(音楽専科 柿島 沙織)

卓球クラブ

卓球クラブでは、自分のレベルに合わせてコースを選びながら楽しく卓球に取り組んでいます。

シングルスやダブルスで、どんどん試合をするコースでは、スピード感のある卓球を楽しんでいます。中には上級生に挑む子たちも見られ、学年の垣根を超えて活動をしています。

初めてラケットに触る子達は、まずは十回ラリーが続くことを目指して、相手の手元にボールが返るように目標をもって、練習に取り組んでいます。

2学期は、ルールを確認しながら、トーナメントやリーグ戦を行う計画を立てています。

(卓球クラブ担当 嵐 一寛)

クラブ活動

手芸クラブでは、裁縫や編み物、刺しゅうや羊毛フェルトなど、自分の興味ある手芸に挑戦しています。どんな材料や用具が必要か、どんな手順で製作するか等、担当やおうちのひとと相談しながら、それぞれが準備をして活動しています。

完成した作品は、定期的に家庭科室前に飾っていく予定です。六月から飾った作品の前では、廊下を通った児童が興味津々で足を止めて鑑賞していました。今年度中には一人一作品を飾ることを目標に毎月製作を頑張っています。どんな素敵な作品が飾られるか、楽しみにしておいてください。

(手芸クラブ担当 松田 久美子)

手芸クラブ

写真クラブ

写真クラブでは、毎月のテーマを子供たちが決めて活動しています。教室やグラウンドなど、様々な場所にカメラを持って写真を撮りに行き、自分の今月の一枚を選びます。

一学期は「遠近法」を使った写真アートの挑戦しました。異学年で組んだグループごとに活動に取り組み、建物を指つまんだり、友達の手の上に乗ったりと、日常では考えられないような面白い写真を撮ることができました。どのような工夫ができるかと、友達と相談しながら、楽しんで活動する様子が印象的でした。

子供たちの作品は、四階第一音楽室横の掲示板に飾っています。来校された際には是非ご覧ください。

(写真クラブ担当 檜垣 史)



アニメイラストクラブでは、自分の好きなイラストを持ち寄り、上手に描けるように練習します。

一学期の活動では、色鉛筆やペンを用いてイラスト制作に取り組みました。一人ひとりが試行錯誤を繰り返しながら、自分なりの表現を追求し、線の強弱や色の濃淡を生かした素晴らしい作品を描き上げました。友達の仕事を見て、互いの作品のよさを伝え合う姿や、同じものを描いてみたいと互いに高め合う姿も見られました。

今後も子供たちが楽しみながら熱心に活動に取り組みめるように環境を整えてまいります。

(アニメイラストクラブ 久保 友花)

アニメイラストクラブ



模型クラブ

模型クラブでは、それぞれが作り上げたい模型を持ってきて模型作りに励んでいます。車や戦艦、ロボットなど、様々なプラモデルを作成しています。互いに助言し合ったり、称賛し合ったりしながら活動しており、細かな作業に真剣に取り組み表情がとても印象的です。自分の好きなことにとことん時間を掛け、丁寧に仕上げる経験は子供たちにとって非常に豊かなものになると思います。

心を込めて作った作品が出来上がったとき、みんながどんな笑顔を浮かべるのか、今からとても楽しみです。引き続き、意欲的に取り組めるよう、環境を整えていきます。

(模型クラブ担当 島崎 俊輔)

SDGsクラブは、今年度できた新しいクラブです。今までになかったクラブなので、試行錯誤をしていますが、クラブのメンバーはやる気が满满。SDGsの目標を調べたり、ゲームをしたりしてSDGsについての知識を増やしています。

また、「未来に生きるわたしたちだからこそ」を合言葉に、小学生でも取り組めることを企画し、実際に取り組んでみることで、実行可能な持続可能な社会づくりを目指しています。

これまでに、チームに分かれて調べ学習をしたり、クラブ内で発表したりしました。実行可能な取り組みは、校内にも広めていこうと計画しています。

(SDGsクラブ担当 小島 雄貴)

SDGsクラブ